

朱鷺の苑グループを運営している社会福祉法人北伸福祉会（金沢市）の小松栄子理事長は毎年、年頭に掲げる基本理念を、令和2年は「やさしき言葉で思いやり」に決めた。職員が常に目に触れられるよう各施設に掲示されている。

今、言葉を発することがとても難しい時代と言われている。小松理事長は「3年前の理事長就任以来、私の言葉は人としての基本的な部分を発信しています。言葉は相手を勇気づけることもあれば、逆に傷つけてしま



「やさしき言葉で思いやり」

北伸福祉会 今年の基本理念 小松理事長が願い込め

うこともあり、言いにくい場合もありますが、相手を思い、わかりやすい言葉を丁寧に選んで、表現の仕方にも気を付けて欲しい」と願いを込めた。

法人本部のある中央金沢朱鷺の苑ロビーには同福祉会をけん引し、一昨年4月に92歳で亡くなった相談役で前理事長の北本廣吉氏の肖像画が飾られている。「2008年に叙勲を受章した際の職員からのお祝いです。温かみのあるタッチで、昨年、台座を製作しましたが、スタッフや入所者など、みんなを見守ってくれています」と安堵感に包まれる。

今春、全職員の制服を刷新する。北陸先端大の協力の下、1年近くを要したとか。「アンケートを行い、みんなの要望を取り入れました。入所者にとって、ここは家庭に代わる大切な場所であり、職員が働きやすく、やりがいの持てるものをイメージしました」と期待を寄せる。

北本氏の肖像画の前で抱負を語る小松理事長